



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 蛇の目マシン工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6445 URL <http://www.janome.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞壁 八郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大島 毅之 (TEL) 042-661-3071
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	33,643	15.8	2,260	45.9	1,721	251.7	1,010	-
25年3月期第3四半期	29,046	5.7	1,549	△5.8	489	△69.5	17	△69.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,097百万円(248.6%) 25年3月期第3四半期 601百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.23	-
25年3月期第3四半期	0.09	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	53,270	18,446	33.4	92.07
25年3月期	50,183	16,373	31.6	81.91

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 17,798百万円 25年3月期 15,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	8.7	2,500	44.7	1,700	273.5	1,000	-	5.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	195,214,448株	25年3月期	195,214,448株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,893,677株	25年3月期	1,893,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	193,320,774株	25年3月期3Q	193,320,561株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(1) 所在地別セグメント情報	11
(2) 海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国における金融緩和の縮小に対する警戒感や欧州政府債務問題への懸念の長期化、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化により先行きの不透明感は払拭できないものの、米国や欧州で個人消費が増加するなど緩やかな景気回復傾向が続きました。

わが国経済におきましては、政府の経済政策、日銀金融政策が実施される中、円安を受けた輸出環境の改善や、株高等による個人消費の回復、企業収益の改善など、景気回復の動きが見られています。

このような中、当社グループは、当期を初年度とする中期経営計画に基づき、経営資源の重点注力、研究開発のスピードアップならびにトータルコストダウンに取り組みました。その結果、当社グループの総売上高は33,643百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益2,260百万円（前年同期比45.9%増）となり、経常利益は1,721百万円（前年同期比251.7%増）、四半期純利益は1,010百万円（前年同期比993百万円増）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

<家庭用機器事業>

海外シン市場におきましては、先進主要国における個人消費の回復基調を受け、米国・英国をはじめとした海外販売子会社が堅調に推移いたしました。また、代理店向け販売では、ロシア向けが大きく伸長し、欧州、中東向け販売も好調であったため、海外シン販売台数は147万台（前年同期比約2万台増）となりました。さらに今期に発売を開始した最上位機種「Memory Craft 15000」が好評を博しており、為替も前年同期比で大幅な円安となった結果、海外売上高は22,636百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

国内市場におきましては、低価格シンの販売台数減少により、国内シンの販売台数は約13万台（前年同期比約1万台減）となりましたが、中・上位機種の販売や24時間風呂販売が堅調に推移したこともあり、国内売上高は5,526百万円と前年同期比1.7%減の減少にとどまりました。

以上の結果、シン販売台数は過去最高を更新する160万台（前年同期比1万台増）となり、家庭用機器事業の売上高は28,162百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益は1,907百万円（前年同期比75.0%増）となりました。

<産業機器事業>

産業機器事業におきましては、国内市場及び中国や東南アジアの新興国市場に重点をおき、携帯電話・スマートフォン等の情報端末機器や自動車部品などの製造関連企業を中心に積極的な販売活動を展開した結果、受注減少傾向に歯止めがかかりました。しかしながら、受注の回復は小幅なものにとどまっており、卓上ロボット・エレクトロプレスの販売台数は、第3四半期累計で約2,600台と前年同期を約900台下回りました。

ダイカスト铸造関連事業につきましては、国内景気の回復基調を受け、堅調に推移いたしました。

その結果、産業機器事業の売上高は3,538百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は317百万円（前年同期比32.1%減）となりました。

<その他事業>

I Tソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービス、不動産賃貸収入を加えたその他事業の売上高は1,942百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は53百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は53,270百万円（前連結会計年度末比3,087百万円増）となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等により22,843百万円（前連結会計年度末比2,672百万円増）となりました。固定資産は機械・金型・ソフトウェアの取得等により30,427百万円（前連結会計年度末比415百万円増）となりました。

負債の部は、流動負債が支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等により19,190百万円（前連結会計年度末比3,202百万円増）となり、固定負債は長期借入金等の減少により15,633百万円（前連結会計年度末比2,188百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金等の増加により18,446百万円（前連結会計年度末比2,073百万円増）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から694百万円増加し、5,479百万円（前年同期比915百万円増）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,703百万円、売上債権の増加1,283百万円、仕入債務の増加804百万円などによる資金の増減があり、1,629百万円の資金の増加（前年同期は30百万円の資金の減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、機械・金型等の有形固定資産取得による支出492百万円、ソフトウェアの取得等によるその他の支出309百万円などにより、753百万円の資金の減少（前年同期は959百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加2,523百万円、長期借入金の返済による支出2,946百万円などにより、492百万円の資金の減少（前年同期は332百万円の資金の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月6日に公表しました平成26年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,580	6,221
受取手形及び売掛金	6,183	7,848
商品及び製品	4,602	4,735
仕掛品	501	604
原材料及び貯蔵品	2,598	2,640
その他	849	968
貸倒引当金	△146	△176
流動資産合計	20,170	22,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,216	6,087
土地	15,878	15,916
その他(純額)	2,588	2,865
有形固定資産合計	24,683	24,869
無形固定資産		
のれん	505	397
その他	1,376	1,590
無形固定資産合計	1,882	1,987
投資その他の資産	3,446	3,570
固定資産合計	30,012	30,427
資産合計	50,183	53,270
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,861	3,694
短期借入金	10,243	12,349
未払法人税等	272	279
賞与引当金	417	253
事業再編引当金	92	118
その他	2,100	2,495
流動負債合計	15,987	19,190
固定負債		
長期借入金	8,119	5,795
再評価に係る繰延税金負債	4,420	4,420
退職給付引当金	4,572	4,688
その他	711	729
固定負債合計	17,822	15,633
負債合計	33,810	34,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
資本剰余金	823	823
利益剰余金	△1,846	△835
自己株式	△324	△324
株主資本合計	10,024	11,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	313
繰延ヘッジ損益	△7	△5
土地再評価差額金	6,572	6,572
為替換算調整勘定	△885	△118
その他の包括利益累計額合計	5,810	6,762
少数株主持分	537	647
純資産合計	16,373	18,446
負債純資産合計	50,183	53,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	29,046	33,643
売上原価	17,418	20,577
売上総利益	11,628	13,065
販売費及び一般管理費	10,079	10,805
営業利益	1,549	2,260
営業外収益		
受取利息	17	14
受取配当金	17	22
貸倒引当金戻入額	46	—
為替差益	—	119
その他	90	114
営業外収益合計	171	272
営業外費用		
支払利息	286	257
為替差損	161	—
事業再編損	690	450
その他	93	103
営業外費用合計	1,231	811
経常利益	489	1,721
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	1	6
特別損失		
投資有価証券評価損	10	—
固定資産除売却損	12	14
その他の投資評価損	—	10
特別損失合計	23	24
税金等調整前四半期純利益	468	1,703
法人税、住民税及び事業税	424	543
法人税等調整額	43	73
法人税等合計	467	616
少数株主損益調整前四半期純利益	0	1,086
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△16	75
四半期純利益	17	1,010

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	0	1,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	181
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	554	826
その他の包括利益合計	601	1,010
四半期包括利益	601	2,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	594	1,962
少数株主に係る四半期包括利益	6	134

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	468	1,703
減価償却費	719	827
のれん償却額	124	108
退職給付引当金の増減額(△は減少)	46	39
受取利息及び受取配当金	△35	△37
支払利息	286	257
投資有価証券評価損益(△は益)	10	—
売上債権の増減額(△は増加)	29	△1,283
たな卸資産の増減額(△は増加)	△683	103
仕入債務の増減額(△は減少)	△192	804
その他	△133	△162
小計	640	2,358
利息及び配当金の受取額	37	40
利息の支払額	△245	△232
法人税等の支払額	△462	△537
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30	1,629
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△304	△104
定期預金の払戻による収入	300	147
有形固定資産の取得による支出	△595	△492
有形固定資産の売却による収入	4	5
その他	△363	△309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△959	△753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	716	2,523
長期借入れによる収入	1,250	—
長期借入金の返済による支出	△2,240	△2,946
その他	△58	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332	△492
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	310
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,320	694
現金及び現金同等物の期首残高	5,885	4,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,564	5,479

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3 四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,393	3,765	27,158	1,888	29,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	596	627	819	1,446
計	23,424	4,361	27,785	2,707	30,493
セグメント利益	1,090	468	1,558	△4	1,554

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,558
「その他」の区分の損失(△)	△4
セグメント間取引消去	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,549

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,162	3,538	31,700	1,942	33,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	711	742	877	1,619
計	28,193	4,249	32,442	2,819	35,262
セグメント利益	1,907	317	2,225	53	2,279

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,225
「その他」の区分の利益	53
セグメント間取引消去	△18
四半期連結損益計算書の営業利益	2,260

3. 補足情報

(1) 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南ア ジ ア (百万円)	その他 の 地 域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	20,275	4,118	446	4,206	29,046	—	29,046
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,245	—	12,743	35	19,024	(19,024)	—
計	26,520	4,118	13,189	4,242	48,070	(19,024)	29,046
営業利益	600	374	346	373	1,695	(146)	1,549

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南ア ジ ア (百万円)	その他 の 地 域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	21,968	5,601	539	5,534	33,643	—	33,643
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,936	—	15,265	8	22,210	(22,210)	—
計	28,905	5,601	15,805	5,542	55,854	(22,210)	33,643
営業利益	1,025	455	447	438	2,367	(106)	2,260

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域…イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,268	7,223	7,701	19,193
II 連結売上高(百万円)				29,046
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.7	24.9	26.5	66.1

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	5,822	10,073	8,027	23,923
II 連結売上高(百万円)				33,643
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.3	29.9	23.9	71.1

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米………米国、カナダ

② 欧州………イギリス、オランダ、ドイツ、スイス、ロシア

③ その他の地域…東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米